

手稲さと川探検隊 森のネズミをかんさつしよう！



1 森のネズミを知ろう

今回の主役は森にすむネズミ。さと川探検隊が活動している軽川のまわりの森林にくらす生き物を知るプログラムです。ネズミは哺乳類のなかでもっともたくさんいる動物です。しかし、夜に活動するため、そのすがたを見ることは、あまりありません。今回は、わなを使ってネズミをまじかでその様子かんさつしてみましよう。また、この時期、ネズミは冬のエサである木の実をいっしょうけんめい集めています。木の実を集めるときに、どんな特徴や習性があるのかを実験して調べて見ましよう。

2 今日・明日の予定

13日		
15:50~15:20	手稲コミセン	室内説明 調査内容の説明・わなづくり
15:20~16:30	軽川沿いの林	移動・調査 軽川沿いの林で、わなのしかけと木の実の設置
一時解散。宿泊する人は、宿泊地へ...		
14日		
9:00~9:30	手稲コミセン	室内説明 調査内容の確認、予想
9:30~11:30	軽川沿いの林	室内説明 わなの確認、実験結果の確認
11:30~12:00	手稲コミセン	結果のまとめ

今回のかんさつ場所は、さと川探検隊が活動している軽川沿いの林です。昔に植えられたカラマツやトドマツ、自然に入ってきた広葉樹が混じった林です。

3 いけどりわなでネズミをつかまえる

ネズミをじっくり観察するためには、つかまえてみるしかありません。今回はいけどりわなを使って、ネズミをいけどりします。

1.自分でわなをしかけてみよう

1人1コずつわなを組み立てて、ネズミのかかりそうな場所にわなをかけてみよう。おいた場所をわすれないために、ちゃんとわなのそばには自分の名前を書いたピンクテープつけること。次のことに気をつけてトラップをかけよう！

- ・エサとなるどんぐりやくるみのなる木のそばをねらおう！
- ・たおれた木のそばなど、かくれ場所のあるような場所をねらおう！
- ・雨が降ったときに水が入らないように入りが下側になるようにおくこと。
- ・わなの入口が地面にちゃんとつくようにおく。

2.環境のちがう3ヶ所にわなをしかける

環境がちがう場所にわなをかけて、かかる数や種類を比べることで、ネズミの好む環境を調べることができる。ここでは、下草に注目して、ササの多いところ、ササの少ないところ、ササを刈ったところ、3箇所に8コずつワナをかけて、調べてみよう。



4 木の実を運ぶネズミを調べよう（持ち去り実験）

ミズナラのタネ（どんぐり）やクルミなどの木の実やリスなどのげっ歯類、カケスなどの野鳥が冬のエサとするために持ち運んでいき、食べられなかったタネが育っていきます。しかし、木の実がネズミによって運ばれるところをじっさいに見たことがある人は少ないでしょう。ネズミは主に夜に活動し、キツネやタカに見つからないように運んでいくため、その瞬間を目にすることはなかなか出来ません。本当にネズミが運んでいるのか、どうやって運んでいるのか見てみたいとは思いませんか。

そこで今回は、どんぐりなどの実がどうやって運ばれるのか、森の中でいろんな実験をしてみます。皆で結果を予想しながら、どうなったか調べてみましょう。

1. どんぐりなどの実が持ち去られるか

ネズミにも好みがあるのか？どんぐりやクルミなどの自然の実から、大豆やポップコーンなど人が食べる食べ物までいろいろ置いて、持ち去られるかを実験。



2. 大きいのがいい？小さいのがいい？

同じどんぐりでも大きさはいろいろ。ネズミはどっちを先に持ち去るのだろうか？。大きさのちがうどんぐりを置いて、そのどんぐりが持ち去られる瞬間を自動撮影デジカメでとって、調べます。果たして、大きいのが先か小さいのが先か？



3. せまいところにいけるか？

ネズミはどれくらいせまいところまで、通れるのか？大きさのちがう入口を用意して、中にどんぐりをセットして、持ち去りを調べます。



4. どんぐりはどこまで運ばれる？

持ち去ったどんぐりは、どこに運ばれているのだろうか？。どんぐりの一部はすぐに食べてしまいますが、多くは冬にそなえて落ち葉の下などにかくしておきます。そこで、どんぐりに印をつけておいて、運んだ距離や持ち去られた場所を確認してみよう。